

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2020年10月20日（火）12時00分～13時00分

場所： オンライン開催

出席代議員：鈴木、深川、谷本、犬塚、榎戸、野村、松下、坪井、土居、井岡、北山、縣、横山、百瀬、大内、梅村、一本、河野、長田、郷田、戸谷、須藤、相川、奥村、大須賀、太田、浅井、大向、秋山、大朝、津村、米徳、藤沢、江草、生田、福江、赤堀、柏川、細川、今井（以上40名）

大石監事、田村副会長、馬場副会長、伊王野庶務理事、鹿野会計理事、早野会計理事、佐藤事務長、黒岩・田口谷事務長補佐が出席した。梅村会長、鈴木庶務理事は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が40名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：梅村雅之

署名人：梅村雅之

II. 議題

I. 「日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する緊急声明」への対応

2020年10月9日に発出された声明（「日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する緊急声明 -自然史学会連合、日本数学会、生物科学学会連合、日本地球惑星科学連合、日本物理学会、他90学協会-」）について、10月12日に開催された代議員懇談会で議論した。本代議員総会では、日本天文学会として声明に賛同するかどうかの審議を行う。定款50条に基づき議決権の過半数をもって可決とする。

また、可決の場合、代議員総会の採決をもって日本天文学会の決定とし、その結果を会員に伝え、また賛同学会として日本天文学会も名を連ねることを、日本物理学会に伝えることとする。

採決の前に、会員からの要望が出ている日本天文学会単独での声明の発出の可能性に関する質問があった。これに対して、連絡協議会での声明(下記参照)の発出状況に依るが、単独声明の必要性が生じた時は、即応性を重視した会長メッセージや、会員から広く意見を募った上での日本天文学会としての声明などの複数の選択肢があるだろうとの説明がなされた。

採決を行い、賛成：27人、反対：10人、保留：3人（出席代議員数：40人）となり、緊急声明へ賛同する学会として追加を申し入れることとなった。

II. 今後検討されている、連絡協議会の声明に参加するかどうかについて

10月30日に開催予定の理学・工学系学協会連絡協議会において、全国の理学・工学系学協会が参加して、意見交換を行う予定になっている。そこでの議論の結果を受けて、天文学会としての対応を協議することとした。声明が発出され賛同する場合には、声明に賛同する学会として日本天文学会が明記されることが想定される。また、連絡協議会の議論次第では、各学協会が独自に対応することになる可能性もある。その場合には、天文学会の公益目的である「天文学の振興及び普及」に照らし、事業として定められているものの内「関連学術団体との連絡及び協力」または「その他公益目的を達成するために必要な事業」の推進の観点から、日本天文学会独自の声明の発出の可否を協議した上で進めることが確認された。

III. その他

代議員総会で議論された内容は、会員にも広く情報共有されるべきであるとの要望が出された。対して、本日の内容は tennet により会員に周知する旨の回答があった。

10月12日の代議員懇談会の議事メモは、内容と公開の可否を代議員に対して再度確認し、問題が無ければ公開することとした。

[資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する緊急声明」への対応

2020年10月20日

議長・署名人：梅村雅之 印